



ニッポン
ドクターアンドの
和の

臨終回巻

長尾和宏（ながお・かずひろ） 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第2内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。近著「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

先週の金曜日、本紙の人気連載でもおなじみ玉袋筋太郎さんと、新宿歌舞伎町で「男の孤独死」についてトークイベントを行いました。玉ちゃんのトークが炸裂（ざくれつ）し、楽しい一夜でした。帰路、ホストクラブの看板が華やかに並ぶ通りを歩きながら、この方のご冥福を祈りました。

ホストの帝王として君臨した愛田武さんが、10月25日に亡くなりました。享年78。

死因は明らかにされていませんが、ここ数年は認知症を患い、介護施設で生活されていました。

愛田さんは1960年代、故郷の新潟から家出同然で東京へ。東京フランスベッドに入社し、瞬く間にトップセールスマンになりました。68年にホスト

その後は飛ぶ鳥を落とす勢いで、歌舞伎町で店舗を拡大、メディアで引っ張りだこの人気者となっていきます。一方で、今

の言葉で言えばブラックであつたホスト業界の労働改善に力を入れ、2000年代には従業員300人、年商27億円の企業家

認知症が考えられます。脳の細胞に酸素が運ばれなくなり、神経細胞が死滅してしまうことで認知機能が低下するのです。認

知症全体の約2割を占め、アルツハイマー型の次に多いと言わ

れています。アルツハイマー型

との混合型という人も少なく

あります。

糖尿病や高コ

ルステロール血

脂、高血圧、メ

タボ、睡眠時無

となっていました。
しかし2011年、愛田さんは脳梗塞で倒れます。晩年は認

知症を患って、仕事ができる状

態ではなく、経営権を長女に譲

渡します。しかし財産トラブルの末、

すべての経営権は、結局他人の

手に渡ったということです。

愛田さんがそうだったかどうか

は現段階の情報からは明らかで

はありませんが、脳梗塞から

認知症」という、

「脳血管性認

知症」が考えられます。脳の細

胞に酸素が運ばれなくなり、神

経細胞が死滅してしまうこと

で、歌舞伎町で店舗を拡大、メ

ディアで引っ張りだこの人気者

となっています。一方で、今

の言葉で言えばブラックであつ

たホスト業界の労働改善に力を

入れ、2000年代には従業員

300人、年商27億円の企業家

全財産を失った愛田さんは、年金をやりくりして、ある介護施設に入所されました。徐々に認知症が進行していく中、家族内ではお金をめぐって争い事も起こっていたようですが、御本人は、どこまでも分かっていたのかは不明です。

決して二枚目でも、スタイル

が良かつたわけでもあります。

それでもナンバーワンホス

トになれ理由は、あの人懐つ

しい笑顔と会話力にあったので

しょう。男がモテるのは顔じゃ

ない、ハートだと教えて頂きました。

長男とのショットで介護施設

内で撮影した写真がテレビで公

開されていました。トレードマ

ークの口髭はありませんでした

が、あの笑顔は健在でした。華

やかな時代で記憶が止まつたま

ま、幸せに旅立たれたのだと思

いたいです。



時代を築いた笑顔